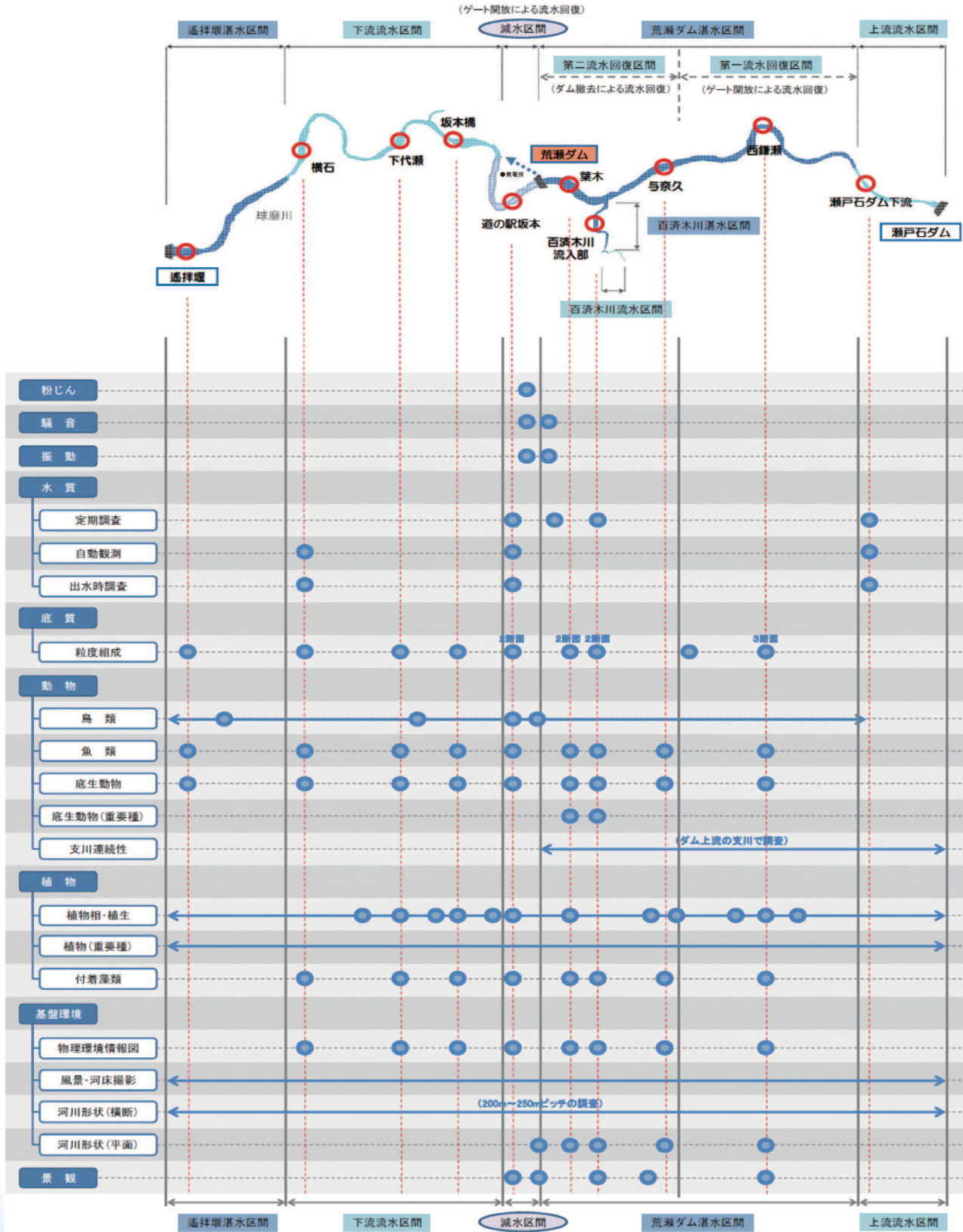


● 調査地点・項目

環境モニタリング調査は、ダム撤去により直接的な変化が及ぶと考えられる荒瀬ダム下流の遙拝堰から上流の瀬戸石ダムまでの範囲(生物多様性保全回復モデル地域に指定)としていますが、遙拝堰から下流域についても他機関が実施する調査結果を、基礎データとして活用していきます。調査地点および調査項目は以下のとおりです。

■ 環境モニタリング調査地点および項目



※状況に応じて調査内容が変わることがあります。

●環境モニタリング調査時期

ダム撤去前、撤去中、撤去後にわたる影響の把握を目的とした大気汚染、騒音・振動、水象・水質、底質、動植物、基盤環境、景観のモニタリング調査を以下のとおり行います。

■環境モニタリング調査項目別の調査頻度、時期

項目		調査頻度	調査時期（年度）											
			22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
			ゲート開放		水位低下	撤去工事実施	右岸スリット撤去後							
大気汚染	（粉じん）	工事実施期間中、毎年1回			■	■	■	■	■	■				
騒音・振動	（騒音、振動）	同上			■	■	■	■	■	■				
水象	（流量）	常時観測（水位）	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
水質	（濁度、DO、pH）〔自動観測〕	常時観測（1時間ピッチ） ※リアルタイムで監視	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（pH、濁度、DO、BOD、TN、TP、 水温、SS）〔採水・分析〕	毎月1回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（濁度、SS、DO）〔出水時調査〕	毎年1出水	■	■	■	■	■	■	▲	▲	▲	▲		
底質	（粒度組成）	出水期後	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
動物	（鳥類）	春季、初夏、秋季、冬季			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（魚類）	春季、夏季、秋季			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（底生動物）	春季、冬季	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
植物	（植物相、植生）	春季、夏季、秋季			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（付着藻類）	春季、冬季	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
基盤環境	（物理環境情報図）	出水期後			■	▲	■	▲	■	▲	■	▲	■	■
	（定点風景・河床撮影）	出水期後	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（河川形状〔横断・深淺測量〕）	出水期後	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	（河川形状〔平面測量〕）	出水期後			■	▲	■	▲	■	▲	■	▲	■	■
景観	（景観）	夏期	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

※状況に応じて調査内容が変わることがあります。

凡例

- ダム撤去期間
- 調査実施
- ▲ 状況に応じて調査実施